

# 石狩市の野外彫刻

石狩浜には、当時のライオンズクラブが中心となって昭和56（1981）年6月30日に設置した、



飯尾円什の像（本郷新）

全長3mの「無辜の民」（本郷新、昭和45（1970）年製作ブロンズ像）があります。



無辜の民（本郷新）

本郷新と石狩市とは縁が深く、他にも石狩市役所正面玄関そばに「飯尾円什之像」（昭和48（1973）年建立ブロンズ胸像）があります。また石狩市民図書館には、その開館記念として平成12（2000）年に札幌市彫刻美術館より寄贈された「鳥の碑」（昭和38（1963）年製作）が設置されています。



鳥の碑（本郷新）



水の輪（川上りえ）

平成2（1990）年に石狩市（当時石狩町）に東京より移転した金属工芸作家、佐々木けいし、川上りえ夫妻の作品も市内に設置されています。総合保険福祉センター「りんくる」には、オブジェ「水の輪」と「すいてきあそび」（川上りえ製作）が設置されていますし、市立図書館の庭には、「時計塔」（佐々木けいし製作、アルミ・銅板製、石狩青年会議所創立20周年記念）が設置されています。



時計塔（佐々木けいし）

なお、石狩市制施行記念メモリアル事業の1つとして、本町地区の弁天歴史通りには「先人たちの碑」（平成8（1996）年製作、ステンレス製レリーフ）が設置されています。



先人たちの碑

（三上正一）